

日本看護歴史学会 会報

日本看護
歴史学会
第86号
2026年7月10日

日本看護歴史学会第40回学術集会のご案内

ナイチンゲール研究から未来を展望する —今、ナイチンゲールが熱い in Mishima—

日 時：2026(令和8)年8月8日(土)・9日(日)
会 場：順天堂大学保健看護学部
学術集会長：小川 典子(順天堂大学保健看護学部客員教授)



第40回学術集会は、静岡県および三島市において初めて開催されます。歴史ある三島文化を探り、講演発表、交流集会の場として研究力向上、学術誌への投稿奨励を目指し、静岡県東部地区の歴史研究に貢献したいと考えています。富士山からの湧き水がいたるところから湧き出ている三島の自然も是非お楽しみください。

西暦2020年5月12日にナイチンゲール生誕200年を迎えました。これを祝し、全世界的規模でナイチンゲール自身の著作および彼女にまつわる関連書籍、記念切手等が発行されています。

ところが、2020年当時は世界的なCovid-19パンデミックの真っ最中であり、日本においても緊急事態宣言が出され、不要不急の外出は禁止され、多くの方が亡くなりました。奇しくもナイチンゲールがクリミア戦争で体験した3密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つ、手洗い、換気、栄養などが時代を超えて再認識され、さらにイギリスでは「ナショナルヘルスサービス(NHS)ナイチンゲール病院」としてイーストロンドンに彼女の名を冠した野戦救急病院が建設されたことも記憶に新しいでしょう。

世界的規模で徐々にパンデミックが終息を迎え、「ナイチンゲール生誕200年記念出版」としてクリミアの天使という一般的なイメージを越境したナイチンゲールの多面性とそれゆえの人間的魅力が研究者らによって様々な角度から再び語られ始めています。今回、ナイチンゲールの越境に執筆している研究者や19世紀イギリス小説の研究者によるシンポジウムを企画しました。ナイチンゲールのイメージが「クリミアの天使」「近代看護の母」「白衣の天使」という少女伝記のイメージを飛び出して「既存の価値を破壊する」「永遠の今を生きる」時代を超えたナイチンゲール像について新進気鋭のシン

ポジストたちに語っていた
だき、新たなナイチンゲール
の価値の創造を目指して
いきたいと考えます。

細菌が未だ発見されていない時代に、微生物が引き起こす感染症と闘い、時代を先取りした観察力・行動力によって、時代に抵抗する彼女の姿勢から未来を展望しましょう。

折しも、明治の看護師・大関和と鈴木雅、二人のトレインドナースをモデルにしたテレビドラマ「風、薫る」が2026年度前期のNHK朝の連続テレビ小説として話題を博し、なんとそこでナイチンゲール著『看護覚え書』も登場しています。さらに劇団四季が『ゴースト&レディ』という、クリミア期のナイチンゲールをモデルにしたミュージカルも大好評でライブ配信もされているようです。

今回の学術集会のプログラムでは他に一般演題、会長講演、教育講演、理事セッション、市民公開講座を企画しております。市民公開講座では、歴史ある三島文化のルーツについて「歴史に学ぶ世界の見方」というテーマから国立遺伝学研究所名誉教授の五條堀孝先生より「運命の可視化：ナイチンゲールの統計からダーウィンと木村資生の進化論へ」とナイチンゲールの統計にも触れた講演をいただきます。さらに「三島の神様～三嶋大社の歴史と信仰」について1000年以上の歴史を持つ三嶋大社の矢田部盛男宮司に講演していただく予定です。

パンデミックや核や戦争の脅威の絶えない現代世界のなかで、「誰もがいつかは誰かの健康に責任を負う、すなわち看護師になるときがきつとくるだろう」と書いたナイチンゲールについて、皆さまに興味を持っていただけることを切に願っております。

第 40 回日本看護歴史学会学術集会プログラム

8 月 8 日 (土) : 1 日目 9 : 30 ~ 受付

学術集会長講演 「ナイチンゲールから学ぶ時代に抵抗する精神」

演者：小川 典子 (順天堂大学保健看護学部)

座長：大西 智子 (日本赤十字社)

教育講演 “Every sick person will have the best chance of recovery, be learned and practiced!”

演者：山本 利江 (ナイチンゲール研究学会会長)

座長：和住 淑子 (千葉大学大学院看護学研究院)

市民公開講座 1 「運命の可視化：ナイチンゲールの統計からダーウィンと木村資生の進化論へ」

演者：五條堀 孝 (国立遺伝学研究所 名誉教授)

座長：横山 悦子 (順天堂大学保健看護学部)

市民公開講座 2 「三嶋のかみさま～三嶋大社の歴史と信仰」

演者：矢田部 盛男 (三嶋大社宮司)

座長：近藤 ふさえ (長岡崇徳大学)

理事会セッション I (戦争と看護) 「パレスチナ・ガザ / イスラエル問題の現状とこれから～パレスチナ医療・こども支援活動の現場から～」

演者：猫塚 義夫 (新川新道整形外科病院)

座長：川嶋 みどり (日本赤十字看護大学) / 鷹野 朋実 (日本赤十字看護大学)

一般演題 (口演発表) 示説展示 (展示)

8 月 9 日 (日) 2 日目

シンポジウム：「カサンドラからはじまる、ナイチンゲールの目指した未来とその看護学的意義」

シンポジスト：

木村 正子 (岐阜県立看護大学) 翻訳「カサンドラ」

見城 道子 (東京女子医科大学看護学部) 「三重の関心とは何か」

和住 淑子 (千葉大学大学院看護学研究院) 「看護婦登録制度論争とは何だったのか」

座長：小川 典子 (順天堂大学保健看護学部)

理事会セッション II (研究活動推進委員会) 「3 つのテーマと研究の継続」

演者：平尾 真智子 (看護史研究会代表)

座長：滝内 隆子 / 岡山 寧子

一般演題 (口演発表) ポスター展示 (展示)

参加登録のご案内

■参加方法

本学術集会の参加にはオンライン参加登録が必要です。以下をご確認の上、第 40 回学術集会のホームページよりご登録いただきますようお願いいたします。ただし、大学院生・学生は、オンライン参加登録は不要で、当日参加受付のみとなります。受付にて「学生証」を提示し現金でお支払いください。

■事前参加登録期間：2026 年 2 月 27 日 (金) ～ 7 月 17 日 (金)

7 月 17 日以降は当日受付の参加費となりますことご承知おきください。

■オンライン参加登録時のご注意

- ・会員番号は「日本看護歴史学会」の会員番号をご入力ください。
- ・参加登録のお支払いは、クレジットカード決済に限りません。クレジットカードによるお支払いが困難な場合は、事務局宛にご相談ください。
- ・参加登録後の取消・払戻はできませんので予めご了承ください。
- ・決済完了後、「完了通知メール」が送付されます。このメールの受信をもって登録完了といたします。
- ・領収証は、「完了通知メール」に添付されています。再発行はいたしませんので、必ず保管してください。
- ・当日、受付にてスマートフォン等画面で完了通知メールをご提示いただくか、完了通知メールを印刷したものをご提出ください。参加証とお引き換えいたします。

- ・参加証は名札を兼ねております。当日、受付でお名前、ご所属をご記載ください。
- ・災害発生時等、開催が困難になった場合もご返金できかねます。あらかじめご了承ください。

■参加費

参加費	会 員	非会員	大学院生	学 生
事前申込	8,000 円	10,000 円		
当日申込	10,000 円	12,000 円	2,000 円	500 円

※参加費には講演集が含まれます。別途、追加で講演集をご購入いただく場合は税込 2,000 円でお買い求めください。大学院生・学生の参加費には講演集は含まれません。お求めの方は、税込 2,000 円でご購入下さい。

※日本医史学会、日本歯科医史学会、日本薬史学会、洋学史学会、日本獣医史学会の会員の方は「会員」としてお申込みいただけます。お申込みフォームの会員番号欄に各会員番号をご記入ください。

問い合わせ先 第 40 回日本看護歴史学会学術集会事務局

順天堂大学保健看護学部

〒 411-8787 静岡県三島市大宮町 3-7-33 (JR 三島駅徒歩 8 分)

学会事務局 e-mail :40thjsnh@gmail.com

第 40 回看護歴史学会学術集会ホームページ <https://www.jsnh40.com/>



理事会セッションⅠ (戦争と看護)

テーマ：パレスチナ・ガザ / イスラエル問題の現状とこれから～パレスチナ医療・こども支援活動の現場から～

演者：猫塚 義夫 (新川新道整形外科病院)

座長：川嶋 みどり (日本赤十字看護大学) / 鷹野 朋実 (日本赤十字看護大学)

現在、世界各地の紛争地域で暮らす子どもたちが日々、戦禍の犠牲となっています。

パレスチナのガザ地区では、軍事衝突の激化による大規模な破壊が長期にわたり繰り返され、子どもたちは爆撃や飢餓など命の危険にさらされる生活が常態化する中で、心も身体も極限状態におかれ続けています。

今年の理事会セッション「戦争と看護」では、猫塚義男先生を講師にお招きします。

猫塚義夫先生は、1973 年に札幌医科大学卒業後、脊椎外科と膝関節外科を中心とする整形外科医として診療や臨床研究にご活躍される傍ら、障害者へのボランティア活動などを展開されてきました。2010 年、「北海道パレスチナ医療奉仕団」を立ち上げ、現在に至るまで紛争地域での医療活動にも従事されています。

このセッションは、平和の大切さを再確認するとともに、ガザの子どもたちが日常を取り戻し、当たり前の子どものらしい幸せを手にするために「いま私たちにできること」を、猫塚先生、そして参加する皆様とともに考える機会にしたいという思いから、企画いたしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

理事会セッションⅡ 研究活動推進委員会

テーマ：3 つのテーマと研究の継続

演者：平尾 真智子 (看護史研究会代表)

座長：研究活動推進委員会 滝内 隆子 岡山 寧子 小川 典子

近年少しずつですが、本学会の学術集会における研究発表数や投稿論文数は増加傾向にあります。しかし、まだまだ学術雑誌としての日本看護歴史学会誌に掲載される論文件数が少ない状況です。その原因として歴史研究に取り組むには研究テーマの設定、史実・資料の収集・分析、そして論文にするまでに多くの時間がかかり、継続していくことが困難であることが考えられます。

そこで、今年度は、長く看護の歴史研究に取り組んでこられた看護史研究会の平尾真智子先生を講師として「3 つのテーマと研究の継続」をテーマとした講演を開催します。講演後には、教育的支援として看護の歴史研究を継続するための意見交換会なども実施する予定にしております。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

訂正とお詫び

第 85 号日本看護歴史学会会報に掲載しました「第 39 回日本看護歴史学会学術集会 第 2 回学会優秀賞」の受賞者名に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。研究活動推進委員会・特別委員会
受賞者氏名：鈴木沙織 → 訂正：船木沙織

日本看護歴史学会総会のお知らせ

令和 8 年 8 月 8 日(土) 16:45 ~ 17:45 順天堂大学保健看護学部 メイン会場

*返信用はがきに必要事項をご記入の上、7 月 31 日(金)(必着)でご返送くださいますようお願いいたします。

編集委員会からのお知らせ

日本看護歴史学会誌は年 1 回、3 月末の発行です。投稿受付は 6 月 1 日 ~ 6 月末です。8 月の学術集会で発表を予定されている方は、学会発表後に、是非、論文投稿をお願いします。投稿された論文は査読とそのやり取りを通じて、できるだけ受理する方針です。

本の紹介

1. 川嶋みどり編著：14 歳の葵と読むナイチンゲールの看護覚え書き，ライフサイエンス出版
2. 丸山マサ美編著：生命倫理学概論（2024），大学教育出版
3. 『日本看護歴史学会 35 周年記念誌』日本看護歴史学会編（¥2000/冊、送料込）

祝 矢野正子先生『瑞宝小綬章』

綬章はコロナ禍の為、園遊会が延期されましたが、矢野先生は、令和 3 年 4 月 29 日、『瑞宝小綬章』・令和 6 年 10 月 30 日、園遊会に出席されました。喜びの声を伺いました。

『昭和から平成初期の厚生省（当時）看護課長の時代には、看護師等の人材確保の促進に関する法律の制定、看護大学・大学院の増、訪問看護師・専門看護師・男性保健師の育成、看護の日の制定、医療法第 1 条の 2 の文中に“看護師”の文字の追加、などに関与しました。看護は、人間と環境との統合の科学であり、どのように人が変化を全うできるかを体系的に研究する学問であると思います』
主要経歴：東京大学医学部教授・聖マリア学院大学名誉学長、功労概要：厚生行政事務功労・厚生省健康政策局看護課。 文責 丸山マサ美



新入会員紹介(敬称略)

*数字は会員番号 2025年10月21日~2026年5月29日の入会

N26008 加門 恵	N26001 松田 隆秀
N26014 沢口 恵	N26002 手島 芳江
N26006 中村もとゑ	N26003 犬伏 真実
N26004 金内 淳子	N26005 大川 順子
N26011 戸田 法子	N26007 鈴木美智子
N26009 福岡 幸夫	N26010 伊勢根尚美
N26016 佐藤 紀子	N26013 川西 美佐
N26012 吉田 幸子	N26015 大草由美子
N26018 川村 道子	N26017 中村 哲

※入会手続中 2 名を含まず



■事務局から

*2025年度の動向（2026年4月2日現在）

会員数：256名 入会者数：20名 退会者数：31名
退会理由として、「年度末でのご退職（ご引退）」が増えております。しかし、本学会はご所属先の有無を問わずご参加いただけます。退職後もぜひ引き続き会員としてご継続くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

NHK 2026 年度前期 連続テレビ小説「風、薫る」看護考証を当学会の春日広美・鈴木紀子・田中幸子・名原壽子・芳賀佐和子・樋野恵子・川原由佳里のメンバーで対応してくださっております。歴史を振り返ってこそその未来です。どうぞ歴史に興味を持たれた方、学会入会をお勧め致します。（黒）

日本看護歴史学会会報 第 86 号

企画・編集 黒田裕子
屋宜譜美子
小田正枝

発行責任者 田中幸子（理事長）

印刷 株式会社 ソウブン・ドットコム

事務局 〒261-0014
千葉県千葉市美浜区若葉2丁目10番1号
千葉県立保健医療大学
健康科学部看護学科内
事務局 春日広美
E-mail office@jsnh.jp

学会 H P <http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/>